

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	山口芸術短期大学
設置者名	学校法人 宇部学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	保育学科(幼児教育コース)	夜・通信			43	43	7	
	保育学科(介護福祉コース)	夜・通信		2	50	52	7	
	芸術表現学科	夜・通信		4	62	66	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00002-0.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山口芸術短期大学
設置者名	学校法人 宇部学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元高等学校教頭	平成28年4月～令和2年3月	学校法人の運営に多様な意見を取り入れ、経営機能の強化を図る。
非常勤	元高等学校教頭	平成31年4月～令和2年3月	〃
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山口芸術短期大学
設置者名	学校法人 宇部学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各教員は、シラバス作成要領に則り、授業形態(方法)、ナンバリングコード、授業概要、達成目標、15回の授業計画、成績評価の方法・基準に加え、成績評価フィードバックの具体的方法、時間外学習の内容や時間、その参考となるテキスト・参考書等を明確に記載している。</p> <p>令和元年度からは、授業科目毎に、ディプロマ・ポリシーと達成目標との関連性を明示するとともに、学習意欲や定着度を高めるアクティブ・ラーニングを推奨するため、その内容の記載欄を設けた。</p> <p>本シラバスは、「講義概要」として印刷し、年度当初のオリエンテーション時に全学生及び教職員に配布し、本学ホームページでも公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/syllabus_geitan2019.pdf
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

本学では、カリキュラム・ポリシーに評価の方針も明記するとともに、学則及び「履修方法に関する規程」、「単位認定及び試験に関する規程」に、卒業要件等に関する事項や成績評価の方法・基準を定めている。これらは、全学生及び教員に配布する「学生ハンドブック 2019」にわかりやすく記載し、年度当初のオリエンテーションで学科教務担当から説明している。

各授業においては授業担当者が、前段の各規程に則った授業ごとの評価方法・基準をシラバスに示し、初回の授業時間に学生に周知している。シラバスには、筆記試験や実技試験、レポート、プレゼンテーション、制作作品、グループ活動の貢献度等、多様な方法を評価割合とともに示し、評価基準は、評価で重視する観点などを示している。授業担当者は、各規程やシラバスに示した評価方法・基準に基づき、総合的かつ厳正に評価を行い、単位認定をしている。

「卒業研究」については、各学科・コースでそれぞれ、「子ども総合研究 I・II」(保育学科幼児教育コース)、「介護の研究 I・II」(同学科介護福祉コース)、「卒業研究(芸術表現学科)」を設け、研究論文、演奏、創作等の通年の専門演習科目を、シラバスに記載した成績評価基準に基づき、実施している。その際、いずれも研究発表を義務づけ、評価方法と評価基準を明示し、総合得点で厳格に単位認定している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、成績評価については、学則第 35 条に規定されている S (100～90 点)、A (89～80 点)、B (79～70 点)、C (69～60 点)、D (60 点未満) の 100 点法・5 段階評価に加えて、GPA の仕組みを導入している。

GPA は学内の運用規程で定めた算定方法 (S の単位数 \times 4 + A の単位数 \times 3 + B の単位数 \times 2 + C の単位数 \div 履修登録単位数) により、学生部教務課が学期 GPA 及び通算 GPA を算出し、学科教務担当教員に通知している。当該運用規程には、履修登録科目の途中放棄等の留意点も明記している。

学科教務担当教員に通知された数値はチューターや指導教員を通じて学生に知らされ、学生は学生の履修計画の作成に、教員は修学指導に活用している。特に、学期 GPA 1.00 未満が 2 期、または 3 期連続する者には面接指導を行うなどして、退学防止に務めている。

また、各学年の GPA 分布状況を、教授会で情報共有して学年全体の成績の現状や成績不振者の把握に努めるとともに、ホームページ上に算出方法及び分布表を公開して、学生が自分自身の成績の位置を確認できるようにしている。

<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>GPA 制度 http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00015-0.pdf GPA 数値分布状況 http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00011-0.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学は、建学の精神「至誠」に基づき、「芸術を基盤とする教育」を通して、よき社会人として地域社会で活躍できる人材の育成を目的としており、これらの建学の精神・教育理念・教育目的を踏まえて、学生が身に付けるべき資質・能力の目標を明確に示したディプロマ・ポリシーを策定し、全学生、教職員に配布する刊行物「学生ハンドブック 2019」に掲載してオリエンテーション等で周知するとともに、ホームページ上にも公表している。 卒業の認定に当たっては、ディプロマ・ポリシーに則り、目標とする学修成果(学士力)を身につけ、所定の在学期間を満たし、基準となる単位を修得した者に対して、教授会で審議の上、学長が卒業認定及び学位授与を決定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	山口芸術短期大学
設置者名	学校法人宇部学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00019-5.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00019-2.pdf
	http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00019-3.pdf
	http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00019-4.pdf
財産目録	http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00019-6.pdf
事業報告書	http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00019-1.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00019-7.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 山口芸術短期大学事業計画 対象年度: 令和元年度)
公表方法: http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00010-0.pdf
中長期計画(名称: 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/self-evaluation_2018_yca.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/H24_2012_kikanbetuhyoukakekka.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 山口芸術短期大学
教育研究上の目的 (公表方法： http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/split/)
(概要) 本学の教育研究上の目的は、学則第 1 条に、「教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、本学の建学理念「至誠」の精神に基づき、深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力の育成、並びに芸術文化の修得により、人間味豊かな格調の高い人格の育成を図るとともに、地域社会の発展に寄与すること」と規定している。 また、本学は、この目的を学生や保護者にとって、建学の精神や教育の理念との関連も含め表現をよりわかりやすくするため、全学生・教職員に配布する「学生ハンドブック 2019」の巻頭に、次のように明示している。 【教育の目的】 地域社会の発展に寄与する人材育成 「芸術を基盤とする教育」にもとづき、よき社会人として地域社会で活躍できる人材の育成を目的としています。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/)
(概要) 本学は、建学の精神・教育の理念・教育目的に基づき、大学の 3 つのポリシー(卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針)を一体的に策定している。 そのうち、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)については、目標とする 4 つの学修成果(学士力)を身につけ、所定の在学期間を満たし、基準となる単位を修得した者に対して、卒業を認定し、「短期大学士」の学位を授与します。」としている。 卒業までに身につけるべき 4 つの学士力は以下のとおりである。 (1) 態度・志向性：社会で生きていくための基本的な態度を身につけ、地域社会に貢献する意欲をもっている。 (2) 汎用的能力：社会生活に必要な能力を身につけ、状況に応じて活用できる。 (3) 専門的知識・技能：専攻する専門分野における基礎的な知識・技能を修得している。 (4) 総合的な学習経験と創造的思考力：修得した知識・技能等を総合的に活用し、直面する課題にそれらを適用して解決することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/)

(概要)

本学の「教育課程編成・実施の方針」は、ディプロマ・ポリシーを踏まえて、以下のとおり、教育課程編成、当該教育課程における学修方法、学修成果の評価の在りかたを示している。

1. 教育課程編成とその内容

- (1) 「教養教育科目」では、社会を生きる上で必要な基礎的な教養（自然科学、人文科学、情報技術等）を身につけるとともに、豊かな人間性と、格調高い人格の形成をめざします。
- (2) 「専門教育科目」では、実習・実践重視の多様な科目を設置し、専攻する分野で活かせる専門的な知識や技能を身につけるとともに、実践力を養います。

2. 学修方法

- (1) アクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法の採用を推進します。
- (2) レポート課題等を課す時期や量、科目間の整合性・連携性を図り、学生の主体的な学びを保障します。
- (3) 学生の学びが段階的に深まり、広がるように、実習や実践を教育課程の中心に置きます。

3. 学修成果の評価

- (1) 各科目のシラバスに定める目標に対する到達度で評価します。
- (2) ディプロマ・ポリシーに掲げた専門的知識・技能、汎用的能力、態度、及び統合的な学修経験と創造的思考力について、学科・コース別に定めた評価基準を基に評価します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/>)

(概要)

1. 入学前に身につけてほしい能力

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能：入学後の修学に必要なとされる基礎的・基本的な知識・技能、及び基本的生活習慣や社会性を有している人
- (2) 課題を解決するための思考力・判断力・表現力：現代社会の諸課題を、自らの生活に即して考え、よりよく生きようとする態度を身につけている人
- (3) 主体的に学習に取り組む態度：主体性を持って、多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている人

2. 入学後にディプロマ・ポリシーに掲げた学士力を身につけるため、開講する科目群や課外活動の中で、以下の能力の獲得に意欲のある人

- (1) 幅広い知識と視野を獲得し、地域の教育・福祉・芸術文化の発展に寄与しようとする意欲がある人
- (2) 卒業後に職業人として必要な専門基礎力を身につけ、社会が求める実践力を発揮しようとする意欲がある人

学部等名 山口芸術短期大学保育学科
教育研究上の目的（公表方法： http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/split/ ）
<p>（概要）</p> <p>保育学科の目的は、大学の目的を踏まえ、次のように定めている。</p> <p>地域社会における保育及び介護の現場から、真に求められる保育者(幼稚園教諭・保育士)並びに介護福祉士の養成</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/ ）
<p>（概要）</p> <p>保育学科の「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）については、大学の示す4つの学士力を踏まえ、幼児教育コース、介護福祉コースごとに、それぞれ、以下のとおり示している。</p> <p>【保育学科幼児教育コース】</p> <p>a) 学び続ける意欲をもって主体的に考え行動し、他者と協調して生活することができる。</p> <p>b) 豊かな感性と教養を身につけ、高い倫理観や広い見識をもって、物事に取り組むことができる。</p> <p>c) 保育現場での実践に生かすことができる専門的知識や技能を身につけている。</p> <p>d) 豊かな表現力と創造性をもって、他者と円滑にコミュニケーションを図りながら保育実践上の課題を解決することができる。</p> <p>【保育学科介護福祉コース】</p> <p>a) 学び続ける意欲をもって主体的に考え行動し、他者と協調して生活することができる。</p> <p>b) 豊かな感性と教養を身につけ、高い倫理観や広い見識をもって、物事に取り組むことができる。</p> <p>c) 介護現場での実践に生かすことができる専門的知識や技能を身につけている。</p> <p>d) 豊かな表現力と創造性をもって、他者と円滑にコミュニケーションを図りながら、介護実践上の課題を解決することができる。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法： http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/ ）
<p>（概要）</p> <p>本学保育学科の「教育課程編成・実施の方針」は、次のように示している。</p> <p>専門知識・技能だけでなく、感性や人間性を磨くとともに、コミュニケーション能力や表現力を身につけ、保育や介護の現場から、真に必要とされる保育者及び介護福祉士を養成するために、系統立てた実習や芸術系の授業を中心としたカリキュラムを構成します。</p>
入学者の受入れに関する方針 （公表方法： http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/ ）

<p>(概要)</p> <p>本学保育学科では、「次に示すような資質や能力、意欲を持ち、保育職あるいは介護職をめざす人を求めています。」と具体的に示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な学力やコミュニケーション能力、文章力や表現力のある人 ・ 保育や介護の仕事の重要性や責任の重さを理解し、主体的に人と深く関わることのできる人 ・ 保育や介護を必要としている人に愛情を持ち、高い保育力や介護力(専門知識や技能)を身につける意欲のある人 ・ 保育者や介護福祉士として必要な資質(主体性・協調性・明朗性)を兼ね備えた人 ・ 鍵盤演奏能力を有した人 または、身につける意欲のある人(幼児教育コースのみ) ・ 基本的な生活習慣が身につけている人
--

<p>学部等名 山口芸術短期大学芸術表現学科</p>
<p>教育研究上の目的(公表方法：http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/split/)</p>
<p>(概要)</p> <p>芸術表現学科の目的は、大学の目的を踏まえ、次のように定めている。</p> <p>主体的に進路を切り拓き、地域社会で活躍できる人材の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針(公表方法：http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>芸術表現学科の「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)は、大学の示す4つの学士力を踏まえ、以下のとおり示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> a) 社会人としてふさわしい教養やコミュニケーション能力を身につけている。 b) 働く意義を理解している。 c) デザインや音楽、情報・ビジネスフィールドにおける基礎知識と技能を身につけている。 d) 課題発見力、創造力、実行力などの社会人基礎力や協働性を身につけている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学芸術表現学科の「教育課程編成・実施の方針」は、次のように示している。</p> <p>キャリア形成や芸術に関する学びを通して、社会人として求められる教養やコミュニケーション能力の基礎的な知識や技術を身につけるとともに、豊かな感性や創造的な表現力を育成する系統的なカリキュラムで構成されています。</p>

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/)</p>
<p>(概要) 本学芸術表現学科では、「入学受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)を以下のとおり具体的に示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン、音楽、情報・ビジネスの専門的な知識や技術を学ぶ意欲のある人 ・社会人、職業人として必要な教養や実践力を身につけたい人 ・地域社会の発展に主体的に取り組む意欲のある人 ・基本的な生活習慣が身についている人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/01-00001-0.pdf</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数 (本務者)							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	人	—					人
保育学科	—	5人	5人	8人	人	人	18人
芸術表現学科	—	5人	2人	1人	人	人	8人
b. 教員数 (兼務者)							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
1人		76人				77人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/teacher/					
c. FD (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)							
<p>「山口学芸大学及び山口芸術短期大学FD・SD委員会規程」を定め、本規程に基づいて活動を行っている。本学は、小規模な大学であるため、教員と職員が一体となった教職協働体制で業務を行っており、教員のFD活動と事務職員のSD活動をとともに実施している。</p> <p>FD・SD委員会では、(1)教育研究活動の改善の立案に関すること、(2)FD・SD研修プログラムの企画と実施に関すること、(3)FD・SD研修活動に関する情報の収集と提供に関すること、(4)FD・SD活動の点検に関することなどを審議し、毎年度策定する年間計画によりFD・SD研修を実施し、教育研究活動及び事務業務等の支援を行っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育学科	120人	93人	77.5%	240人	192人	80.0%	人	人
芸術表現学科	70人	41人	58.6%	140人	86人	61.4%	人	人
合計	190人	134人	70.5%	380人	278人	73.2%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育学科	111人 (100%)	3人 (2.7%)	108人 (97.3%)	人 (%)
芸術表現学科	43人 (100%)	人 (%)	38人 (88.4%)	5人 (11.6%)
合計	154人 (100%)	3人 (2.0%)	146人 (94.8%)	5人 (3.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 幼稚園、保育所、施設、一般企業				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
保育学科	117人 (100%)	110人 (94.0%)	1人 (0.9%)	6人 (5.1%)	人 (%)
芸術表現学科	45人 (100%)	43人 (95.6%)	人 (%)	2人 (4.4%)	人 (%)
合計	162人 (100%)	153人 (94.5%)	1人 (0.6%)	8人 (4.9%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

各教員は、シラバス作成要領に則り、授業形態(方法)、ナンバリングコード、授業概要、達成目標、15回の授業計画、成績評価の方法・基準に加え、成績評価フィードバックの具体的方法、時間外学習の内容や時間、その参考となるテキスト・参考書等を明確に記載している。

令和元年度からは、授業科目ごとに、ディプロマ・ポリシーと達成目標との関連性を明示するとともに、学習意欲や定着度を高めるアクティブ・ラーニングを推奨するため、その内容の記載欄を設けた。

本シラバスは、「講義概要」として印刷し、年度当初のオリエンテーション時に全学生及び教職員に配布し、本学ホームページでも公表している。

『山口芸術短期大学シラバス』

http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/syllabus_geitan2019.pdf

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

本学では、成績評価に関する基準にあたっては、学則及び「履修方法に関する規程」、「単位認定及び試験に関する規程」に定め、各規程やシラバスに示した評価方法・基準に基づき、総合的かつ厳正に評価を行い、単位認定をしている。

成績評価については、学則第19条第2項に規定されているS(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(60点未満)の100点法・5段階評価とし、Dの場合は単位を認定していない。その科目の出席時数が総授業時数の3分の2に満たない場合も、原則として単位は認定しない。

本学では、GPAの仕組みも導入している。GPAは学内の運用規程で定めた算定方法(Sの単位数×4+Aの単位数×3+Bの単位数×2+Cの単位数÷履修登録単位数)により、学生部教務課が学期GPA及び通算GPAを算出し、学科教務担当教員に通知している。当該運用規程には、履修登録科目の途中放棄等の留意点も明記している。学期GPA1.00未満が2期、または3期連続する者には面接指導を行うなどして、退学防止に努めている。

卒業の認定にあたっては、ディプロマ・ポリシーに則り、目標とする学修成果(学士力)を身につけ、所定の在学期間を満たし、学則第24条(卒業要件単位数62単位以上)や学位規程、履修規程に定められた要件が満たされていること等を、教授会で確認・審議し、学長が決定している。

これらの基準は、全学生及び教員に配布する「学生ハンドブック2019」に、平易な表現でわかりやすく記載し、本学ホームページでも公表している。

「教育方針(3つのポリシー)」

<http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy/>

<p>「学習成果の評価に関する方針（アセスメント・ポリシー）」 http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/policy-assessment/</p> <p>「卒業の認定に当たっての基準について」 http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00018-0.pdf</p> <p>「GPA 制度」 http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00015-0.pdf</p> <p>「GPA 数値の分布状況」 http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00011-0.pdf</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	保育学科	62 単位	有 無	50 単位
	芸術表現学科	62 単位	有 無	50 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法： http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00011-0.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：①免許・資格の取得情報 http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/disclosure/ 情報公開＞卒業者の教員免許状・資格取得状況及び専門領域への就職者数 ②学修時間の傾向 http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00013-0.pdf ③授業アンケート http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00012-0.pdf ④学修の満足度 http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/001-00014-0.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/campuslife/campusmap/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	保育学科	593,000 円	250,000 円	350,000 円	施設費 260,000 円、教育充実費 90,000 円
	芸術表現 学科	593,000 円	250,000 円	350,000 円	施設費 260,000 円、教育充実費 90,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生への経済的支援として、学納金の延納・分納制度、公的奨学金の取扱いのほか、本学独自の奨学金制度として、遠隔地特別奨学金制度、介護福祉コース特別奨学金制度、芸術表現学科特別奨学金制度を設けている。</p> <p>http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/campuslife/support/scholarship/</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>大学全体のキャリア支援を統括する機関としてキャリア支援センターを設置し、その下に職種ごとに適切な支援を行うことを目的に、就職支援室、保育職支援室を置いている。また、全学的なキャリア支援について審議する組織として、各学科や各室などの代表からなるキャリア支援委員会を組織し、教職協働で支援を行っている。新卒者の就職先への訪問や企業アンケートを通して、企業側の要望や意見を聞き取るとともに、卒業生からの相談にも応じ継続的な支援を行っている。就職状況は好調である。</p> <p>http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/career/</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>毎年4月上旬に、学生全員の健康診断を実施している。診断項目は、計測(身長・体重・視力)・胸部X線・内科検診である。これらの結果と併せて、BMI値も診断票に記入し、健康相談の資料としている。検査を必要とする学生に対しては、個別に対応し、別途検査結果を保健室に提出するよう指導している。</p> <p>保健室では、日常の学生からの健康相談に加え、健康安全に関する知識や理解を深めることを目的として、年4回の保健室だよりと、インフルエンザ等季節における流行疾患の注意喚起を促す資料等を発行し、学内の掲示板にて周知を図っている。</p> <p>メンタル面についても保健室で体調管理の面と併せて指導を求める学生が多いため、対応した看護師・学生課そして学科教員が連携し、相談内容によっては臨床心理士の指導も加えて対応できる体制を整えるとともに、保健室は学生の心身の健康支援上重要な位置付けをなしている。</p> <p>心理的・精神的な悩みや問題を抱える学生の支援は、学生相談室が中心となってその任務を担っている。平成30年度は、本学及び併設大学の専任教員4人(うち臨床心理士資格保持者1人、臨床発達心理士資格保持者1人)を配置した。</p> <p>学生相談室の開室時間は、週4日(1日2時間)である。平成27年度以降の保健室業務の充実に伴い、学生相談は保健室と連携することでさらに充実させている。</p> <p><保健室> http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/campuslife/support/medical/index.html</p> <p><学生相談室> http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/campuslife/support/advice/</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/info/disclosure/>